



※今年度は1DAYインターンシップの名称で実施しましたが、来年度からは「工学プロジェクト（学内企業実習）」に名称変更して実施します。

工学プロジェクト（学内企業実習）（試行）

通常のインターンシップと違い、企業人が大学に出向き、学生が1日社員としてグループワークを行います。企業から与えられた課題をグループで解決し、就職するために必要な能力を身に付けることを目的として実施しました。振り返りシートを使用して、学生は、実施前と実施後でどのように意識が変わったかを実感できるようにしました。

実施日時：2011年9月14日(水) 1限～5限

参加者：18名

	機械	情報	環境	建築	学年計
1年生	5	1			6
2年生	1	1	3	1	6
3年生	1	2		1	4
4年生		2			2
学科計	7	6	3	2	18

スケジュール： 9：00 企業紹介と趣旨説明
 10：00 企業ごとの課題説明と課題検討
 12：00 昼食(各自)
 13：00 課題検討
 15：00 発表準備
 16：30 成果発表・講評、表彰・振り返り
 16：50 閉会

参加企業： 新潟総合警備保障株式会社
 株式会社阿部建設
 佐藤食品工業株式会社
 各コース編成： 学年・学科混在での6名編成
 (6名×3コース)

◆新潟総合警備保障株式会社コース

テーマ：「セキュリティ業界の宣伝について」

費用対効果が高い、一人暮らしの女性向けのチラシの作成を目指しました。



◆株式会社阿部建設コース

テーマ：「メディア戦略の立案について」

「L'ecrin(レカン)」というブランドの家を売ることを目的として、情報誌、CM、インターネット、広告でL'ecrinの特色をアピールすることを目指しました。



◆佐藤食品工業株式会社コース

テーマ：「新しいニーズの包装餅について」

新しい包装でお客様に振り向いてもらう・買ってもらうためにはどうしたら良いかを目的に、パッケージの付加価値を検討しました。



(参加企業) 講師からのコメント

- ・社会に出る前に、このような体験をすることは有益だ。
- ・即、社会人として通用する人がいた。
- ・多様な学科・学年のグループ構成での活動は評価できる。
- ・「今回の経験を就活の自己アピールに使いたい」という話があったが、企業は大いに評価する。

学生の声：

- ・発表する時の緊張を体験できた。
- ・みんなをまとめる難しさ、決められた時間内に課題をやりとげる大切さ。
- ・たった1つの「簡単そう」な企画を纏め上げることの大変さ・考え方。これだけの事が何故出来ないのかという無力感と絶望感を味わった一日でした。
- ・周りの人と協力することが、成功への鍵に繋がるということを学んだ。
- ・仲間と協力して課題に取り組んだ方が、1人で考えるよりずっと視野が広がる。
- ・モノを考えることの難しさと、意見をすることの重要さ。
- ・1つの事に対して、様々な意見をもつことの大切さ。
- ・本気で消費者のことを考えることの大変さを知った。
- ・お互いに意見を出し合い、協力すれば、難題でも解くことができること。

来年もやる予定！